

# 越谷市地域公共交通網形成計画の骨子（案）

## （1）計画の背景、基本方針、計画の目標

公共交通を取り巻く課題

**計画の背景**

- 市民の目的地となる主要施設は鉄道駅周辺に立地 ⇒ **郊外部から鉄道駅周辺への移動における市民の足の確保**が必要。
- 郊外部ほど高齢化率が高く、将来的にも進展すると想定 ⇒ **郊外から鉄道駅周辺に移動する際の高齢者のモビリティ確保の視点**が必要。
- 平成 27 年 3 月末での、道路改良率は約 84.7%、都市計画道路の整備率は、約 63.8%となっている ⇒ **道路状況に見合った車両での運行の検討**も必要。
- 公共交通の人口カバー状況は 87%と高い水準だが、郊外部ではバスまたは鉄道の利用が困難なエリアが存在 ⇒ **公共交通が利用しづらい地域から鉄道駅や拠点への移動の確保のための公共交通**が必要。
- 周辺部は人口が分散立地し、従来のバス路線等では採算性確保が困難であると想定 ⇒ **市民の参加や車両の効率的運用等を通じた、持続可能な地域交通の確立**が必要。
- 市民アンケートより、バスを利用しない理由は「バス停が遠い」「運行ルートが合わない」などが挙げられた ⇒ **市民ニーズの適切な把握と運行形態、事業形態の検討**が必要。

**論点**

**論点1 公共交通体系・交通網の考え方** (各交通や路線の役割分担、適材適所、連携による交通体系・網を構築)

**論点2 公共交通のカバーやサービスの考え方** (公共交通を利用しづらい地域の公共交通カバーやサービスの改善)

**論点3 持続可能な公共交通としての考え方** (市、事業者、市民の協働による公共交通の導入・維持・改善の体制づくり)

※地域公共交通の活性化及び再生に関する法律と整合した理念設定

**基本方針**

利便性が高く“持続可能”な公共交通網の形成

**計画の目標**

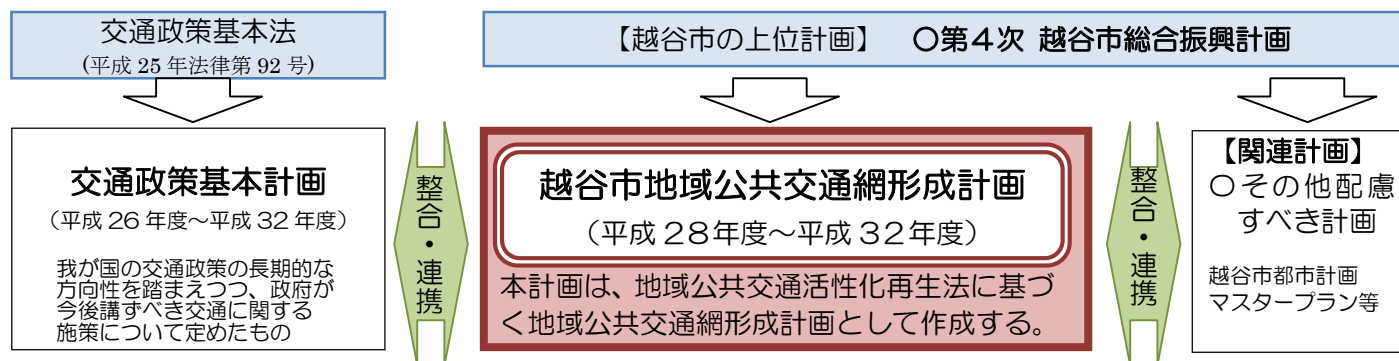
- 目標1 地域に適した公共交通体系・公共交通網を構築する**
- 目標2 公共交通が利用しづらい地域のサービス改善を図る**
- 目標3 公共交通を持続可能なものとするための仕組み（体制やルール）をつくる**

## （2）計画期間

- 目標年：平成32年度を目標
- 計画期間：平成28年度～平成32年度 ※一部取り組みは計画策定年である平成27年度より着手

## （3）計画の位置づけ

本計画は、第4次越谷市総合振興計画を上位計画とし、その他配慮すべき計画を関連計画として整合・連携を図り展開するものとします。また国の交通政策基本法、交通政策基本計画の考え方とも整合・連携します。



## （4）計画の区域

越谷市の全域を計画の区域とする。

## （5）事業・実施期間

○事業内容および実施期間

越谷市公共交通網形成計画の目標を達成するために、以下のような事業を実施していきます。

事業メニュー		実施年度	実施主体	H27 (今年度)	H28	H29	H30	H31	H32
<b>事業1 公共交通体系・公共交通網の構築事業 (目標1に対応する事業)</b>									
民間バス路線の維持・充実	1-1 民間バス路線の維持・拡充								
	1-2 ノンステップバスの導入推進								
	1-3 バス停利用環境の改善								
	1-4 サイクル&バスライド拠点の整備								
駅の交通結節機能の強化	1-5 交通結節機能の強化 (ダイヤ接続や案内等)								
<b>事業2 公共交通が利用しづらい地域のサービス改善事業 (目標2に対応する事業)</b>									
民間バス路線の新設	2-1 大杉公園通りへの民間バス路線の導入								
	2-2 大袋駅西口線への民間バス路線の導入								
	2-3 平方公園への民間バス路線の導入								
新たな地域公共交通の検討	2-4 関係者の協働による新たな地域公共交通の導入に向けた取り組み(モデル地区)								地域に入り持続可能な地域公共交通構築に向け検討
	2-5 関係者の協働による新たな地域公共交通の導入に向けた取り組み(展開地区)								地域に入り持続可能な地域公共交通構築に向け検討
<b>事業3 公共交通を持続可能なものとするための仕組みづくり事業 (目標3に対応する事業)</b>									
仕組みづくり	3-1 地域との連携による新たな地域交通の仕組みの形成(ガイドラインの作成)								
利用促進活動	3-2 案内マップ、利用促進ツールなどの作成								
	3-3 モビリティ・マネジメント								

## （6）計画の達成状況の評価

○目標値の設定による計画の評価

具体的な数値目標を掲げたうえで、目標が達成されたかを評価していきます。

- 目標1** に対する評価指標 → ①公共交通に対する満足度等
- 目標2** に対する評価指標 → ②公共交通網のカバー率
- 目標3** に対する評価指標 → ③市民との協働の取り組み

○計画の評価および見直し

越谷市地域公共交通網形成計画 (Plan) は、施策・事業の実施 (Do)、進行管理・評価 (Check)、見直し・改善 (Action) を繰り返すPDCAサイクルにより、目標達成に向けた事業推進を図ります。

○役割分担による一体的な取り組み

将来にわたって持続可能な公共交通システムを構築していくために、市民、交通事業者、行政等による役割の明確化と協働で取り組むための仕組みをつくり展開します。

